

教育研修会

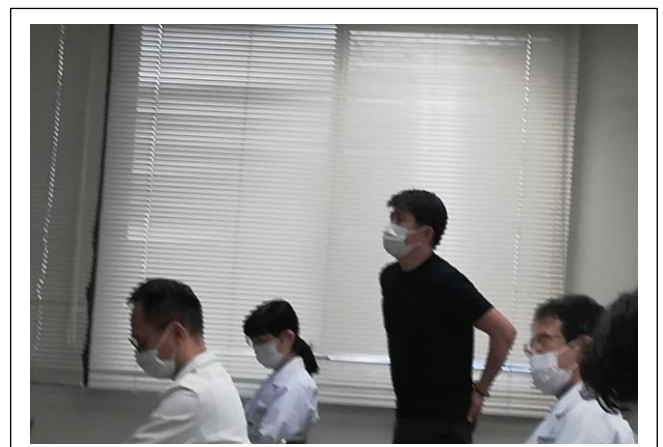
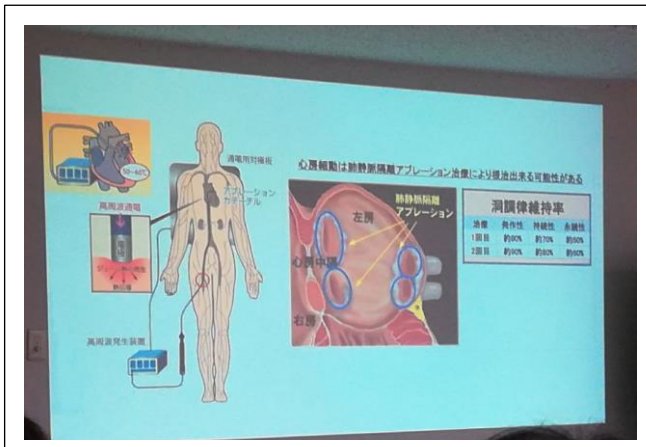
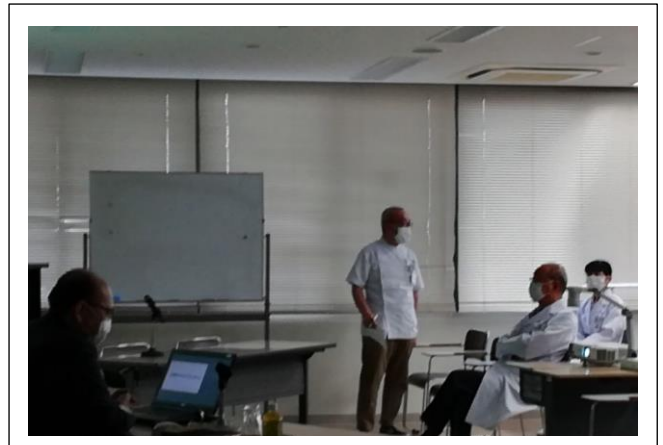
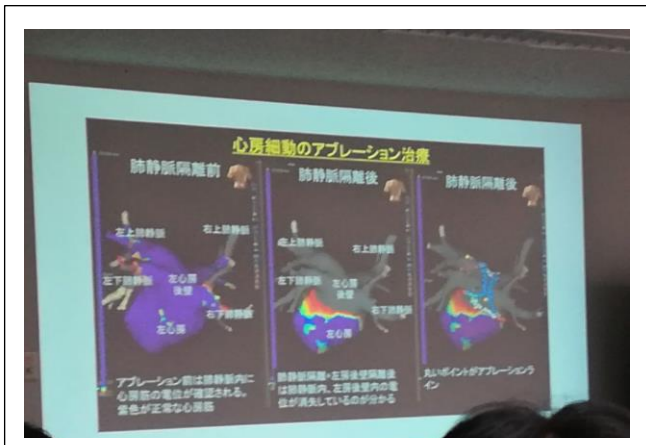
日時：R6年4月30日(火曜日) 17時より開始

場所：新王子病院 4F 会議室A

講師：製鉄記念八幡病院 病院長：柳田大平先生

テーマ：透析患者における心房細動に対する抗凝固療法と心臓アブレーション

講義中の様子です。



透析患者さんの心房細動の発症率は10%以下程度だが、一般の方の発症率よりは高く死亡のリスクも高い状況である。また、合併症として心原性の脳梗塞などのリスクがあるために治療が必要となる。しかし内服では一般の方が使うDOACが使用出来ず、ワーファリンの使用も脳出血のリスクがあり難しい。レートコントロール、リズムコントロールを考えたときにアブレーション治療が有効な手立てとなる。発作性の心房細動であると治療の有効率も8割と成績が良い。再発にも再度アブレーション治療ができ、さらに治療成績がよいとのことであった。たくさんのスライドと普段見ることのないマッピングのスライドも見せて頂きました。立ち見が出るほど出席者も多く、質問も活発にあり大変勉強になる有意義な講義でした。